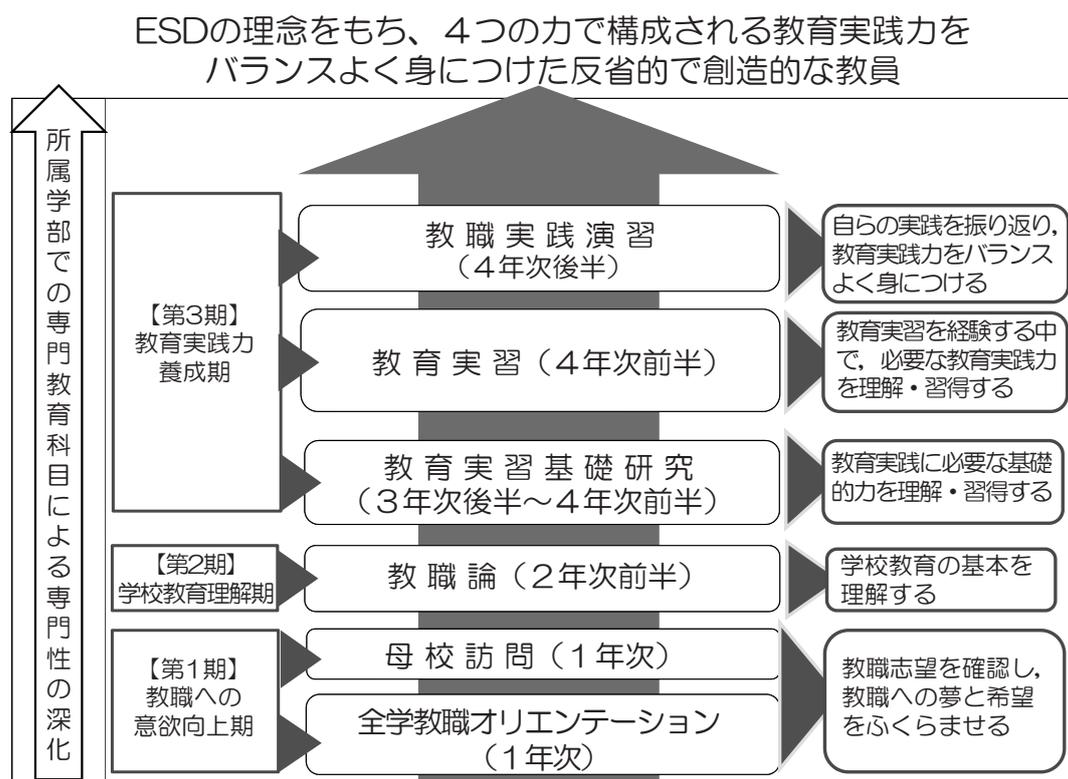


## 2. 本学教職課程の構造

### (1) 全学教職コア・カリキュラム

本学では、教育学部による「教員養成コア・カリキュラム」の研究成果を基にして、全学教職課程の構造化を行いました。

下図の中央部分の柱、すなわち「全学教職オリエンテーション (1年次)」から「教職実践演習 (4年次後半 (3・4学期))」に至る部分が「全学教職コア・カリキュラム」です。これらを全学教職課程の中心に位置づけ、いわゆる「実践的指導力」を育てていきます。そのために、1年次から4年次を3つの期に分け、それぞれ「ねらい」を設定しています。



第1期は、「教職への意欲向上期」です。1年次前半 (1・2学期) に「全学教職オリエンテーション」で教職への志望を確認し、その後、母校訪問 (又はスクールボランティア) に取り組み、教職への夢と希望をふくらませます。第2期は、2年次から3年次前半 (1・2学期) の「学校教育理解期」です。ここでは2年次前半 (1・2学期) の必修の教職科目である「教職論」で学校教育や教職の基本を理解します。第3期は、3年次後半 (3・4学期) からはじまる「教育実践力養成期」です。ここでは、主に3つのことに取り組みます。第1に、「教育実習基礎研究」で4年次前半 (1・2学期) に取り組む教育実習前に必要な基礎的教育実践力を理解し、習得します。第2に、「教育実習」で学習指導や生徒指導など、様々な教育実践に取り組むことを通して自らの力量を育み、教育実習後には再び大学で「教育実習基礎研究」を履修し、自らの実践の意味づけを深めます。第3に、4年次後半 (3・4学期) の「教職実践演習」で自らの教育実践をふりかえり、課題を発見し、不足している力を補う努力をすることで教育実践力をバランスよく身につけます。このよ

うに本学では、学年ごとのステップを確実に歩いていくことで、教育実践力をつけていくことができます。

3つの期にはそれぞれコアになるプログラムや授業科目が配置されていますが、教育実践力をバランスよく高めていくためには、これらの科目はもちろんのこと、全学教職課程の全ての科目で十分に学ぶことが必要です。

全学教職課程の科目は、①文部科学省令で定める科目、②教職に関する科目、③教科に関する科目、④教科又は教職に関する科目、の4つから成り立っています。本学では、①は主に教養教育科目として開講しています。また、②は教育学部が皆さんのために開講しています。先述した「教職論」、「教育実習基礎研究」などのコアになる科目はもとより、各教科の指導法に関する科目もここに該当します。さらに、③は皆さんの所属学部が専門教育科目として開講しています。以下では特に、「②教職に関する科目」と「③教科に関する科目」について確認しておきましょう。

## (2) 教職に関する科目

「教職に関する科目」は教育学部が開講しています。教員免許状を取得しようとする皆さんにとっての「教職に関する専門科目」と言えるでしょう。この科目を履修するからこそ、教育学部以外の学部にも所属しながら教員免許状が取得できるのであり、この科目でしっかり学ぶことで、教育実践力をバランスよく高めていくことができるのです。

「教職に関する科目」は、「教職の意義等に関する科目」「教育の基礎理論に関する科目」「教育課程及び指導法に関する科目」「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」「教育実習」「教職実践演習」から成ります。これをさらに大別すると、「教育学を基礎にしている科目」「心理学を基礎にしている科目」、「教科教育法の科目」、そして「教育実習に関する科目」に分けることができます。教員免許状の取得のためには、これらの枠組からバランスよく単位を修得する必要があります。中学校の教員免許状を取得するためには31単位、高等学校の教員免許状を取得するためには25単位を修得しなければなりません。また、皆さんが4年次前半（1・2学期）の「教育実習」を履修するためには、3年次終了までに、この「教職に関する科目」の中から16単位以上修得しておくことが必要ですから、計画的に履修しておきましょう（いずれも本学独自の基準です）。

## (3) 教科に関する科目

「教科に関する科目」の多くは、皆さんの所属学部の専門教育科目として開講しています。例えば、文学部の皆さんで中学校社会科の教員免許状の取得を希望している人の場合は、「日本史概説1」が「教科に関する科目」のひとつに該当しますし、理学部の皆さんで中学校・高等学校の数学の教員免許状の取得を希望している人の場合は、「確率・統計a」や「確率・統計b」が該当します。これらはほんの一例です。詳しくは、所属学部が発行している学生便覧やシラバスを参照するなどして、各自で事前にしっかりと確認してください。

なお、皆さんの強みは、各教科を成り立たせている学問について、各々の所属学部でしっかりと学び、研究的な実践力を磨いていることにあります。専門の学部で学んでいるからこそ、研究的な視点で教科書や資料の内容を分析し、教育効果の高い教材を自ら作成し

たりするなど、教科の面白さや豊かさを生徒に伝えられる教員としての礎を築くことができるのです。

#### (4) 全学教職課程カリキュラムマップ

全学教職課程では、教職に関する科目として様々な科目を開講しています。各科目が4つの力(「学習指導力」「生徒指導力」「コーディネート力」「マネジメント力」)のどこに重点を置いているか、またその開講時期や履修の順序を図示したものが次頁の「全学教職課程カリキュラムマップ」です。このマップをもとに、4年間を通してどのように教職課程を履修していくか、具体的な見通しを持つとともに、個々の授業科目がどのような力を身につけることを意図しているのかを充分理解し、学びを深めてください。

# 全学教職課程カリキュラムマップ



学部教育の専門性に支えられた優れた研究的実践力を有する中等教育教員

※表中の科目名は、必ずしも正式なものではなく、開講時期は年によって異なることがあります。

※所属学部や取得する免許によって履修時期は一律ではなく、異なる場合もあります。

※表中の\*は、教職に関する科目に準ずる科目を指します。